



平日日曜 日三十月六
郵税十五錢 二五錢
寄附料 一四錢
發行所 牛谷政喜
副所長 平野大町三三
新いわき新聞社

常識講座

ネセシテは必要とか
窮乏の意だ、それ等に
どれ程の大きなネセシ
テがあるかなど云ふ
のはそれ、又ネセシサ
リと云へば必要なる
或は必然の又は必要
と云つた様なもの、謂

仰總裁殿下御台臨

愛婦本縣支部總會

福島教育會館で有功章親授式
平町の新任者は二十名

愛國婦人會本縣支部の總會は
來る三十日福島市に舉行され
るが當日は總裁東伏見宮妃殿
下御臨席の旨で午前九時福島
教育會館に於て有功章の御親
授式を行はせられ午前十一時
四十分同館庭前に殿下の御台
臨を仰ぎ有功章新受者の記念
撮影午後一時から一等有功
章以上は男子師範校講堂に支
部及び分會役員並に二等有功
章附加章以下立拜講を賜は
り午後二時同校運動場に會員
總會を催し午後三時再び教育
會館に於て殿下の御台臨を仰
ぎ來賓、役員、佩有功章者御

茶會を開催される等であるが
平町に於ける有功章新受者は
左記の如くである
鷹崎千代(一丁目)酒井とみ
(八幡小路)江口こう子(才
縫小路)大津賢うた(三三
丁目)有馬秀子(胡摩澤)猪狩
わか(田町)藤居やい(三三
丁目)阿部こと(才縫小路)吉
田たま(八幡小路)高階ふみ
(四軒町)諸橋雪子(六丁目)
増田静枝(鍛冶町)齊藤米子
(田町)關内品(二丁目)原八
重子(紺屋町)井坂さ(田
町)清水ゆき(田町)萩原と
め子(田町)河田きよ(大町)
酒井さい子(一丁目)以上

平の高級助新設に

佐々木氏の推薦説

研究會九名の同志熱心な活躍
川崎馬目氏等が第一線に

平町の高級助役新設は過般猪
狩清氏の推薦を流産して以來
青沼町長は茲暫らく時期を見
ての上として静觀の態度を取
り町議また町長の選ぶ推薦を
待つものゝ如くであるが事實
は左様に静かなものでなく相
當に裏面活躍が行はれてゐる
其の最も熱心なものは研究會
内の同志間に於ける佐々木龍

歩觸のよい平の舗道

ビチマルスの路面に

三丁目十字路を中心し東西へ
遅くも來月中旬から着工

平町の國道舗装は屢報の如く
路盤調査を終り最適當な工事
方法を考究されてゐたが地質
が軟弱なので成るべく現路面
を維持する方法としてビチマ
ルス乳劑二寸五分を流塗す
る其れだけの路面剥き取りは
施工も比較的容易であるが碎
石砂利その他混合劑が高價な
爲め工費を増すので現路盤の
基礎を破壊せぬやう四寸五六
分の掘鑿を行ひコンクリート
の基礎を敷いて其の上にビチ
マルス乳劑(厚七分位)を塗布
することに決した此方法でゆ

平町堤内の道路

愛谷江築堤の改修

本年度の匡救事業に二千圓
工事の施行は今秋早々

平町堤の内愛谷江筋脇の町
工費には上流取水口愛谷堰下
道が同江筋護岸コンクリート
道の破壊修理をも含むもので
の築堤崩壊のため交通の障害
を來たしたので平町と江筋組
を來たしたので平町と江筋組
を來たしたので平町と江筋組
を來たしたので平町と江筋組

夏井川改修工事の

セメント泥の一味

廿二俵をゴマ化して一杯やる
情を知つて買った人夫頭

石城郡夏井川の山崎地内に於
一袋(圓四十五錢)價三十二
ける夏井川改修工事出役人夫
圓五十錢を胡化してゐたこ
のセメント窃取事件は平署に
とが判つた連累者が悪事を相
於て關係者を取調べてゐたが
談したのは去る三月中で同地
其の結果は左記十二名の共謀
に係るもので袋入二十二俵(改
修事務所が立直所有の南側
で平町職業紹介所では町内に

就勞登録

就勞登録

夏井川改修
平職業紹介所
夏井川改修の本年度工事は今
月末頃から着手されるの
で平町職業紹介所では町内に

新緑日記

大森勇

五月二十五日 東京朝日の第
保持する可きものであると信
二面に比率を變更せば太平洋
の根拠地を強化と云ふ大きな見
出で、米海軍長官の聲明が
職つて、曰く(來る可き海
軍會議において日本がワシン
トンの條約の規定を越えてそれ
以上の建艦をなし乃至は海軍
比率において英米兩國と同率
を要求するならば、米國は太

物置をセメント置場に借受
け之れに工事所用のセメント
を入れて置いたところ工事人
夫に出た同人等が其後の休み
に右の窃取を申合せ同じく立
直所有の南の倉庫に前記二十
二俵を移しそれを同人の處分
に任せて十圓の現金に換え片
寄正二の宅に於て飲酒に費消
したセメントの處分に困つた
立直は匡救事業の人夫頭をし
てゐる片寄武に情を明して一
袋七十錢づゝ十五圓四十錢に
賣却し武は其のセメントで如
來寺の橋の架換え及び川田用
水堀の工事に使用し何れも何
食はぬ顔でゐたものである
夏井川山崎酒井立直(三三)同
志(三三)同片寄武(三三)同
(三三)同村並並崎崎幸助(三三)
同大和田義雄(三三)同大和田
金彌(三三)同渡邊善六(三三)同
村山崎大友章(三三)同杉並大
(三三)同田隆吉(三三)同箱崎善昌
(三三)同上窃盜、同村山崎片
寄正(三三)同酒を飲んだ
家、同山崎片寄武(三三)同贖物
故買(以上)
三百七十三人

平窪村會

平窪村會

石城郡平窪村では來る十五六
の兩日村會を招集し特別戸數
割賦決定その他に關して決
議をなす

伏見氏夫人逝く

伏見氏夫人逝く

前平町長伏見彦彦氏夫人ちよ
子女史は豫ねて病氣癒癒中
あつたが藥石効なく去十二日
逝去明十四日現任福島市に於
て葬儀を営まれると

於ける時局匡救事業就勞希望
者を去る六日から昨十二日ま
で登録中であつたが今年十六
歳以上五十五歳に至る男女の
該當者約四百名を豫想せるに
對し男二百三十五人、女百三
十八人合計三百七十三人であ
ると

農業方面

農業組合

(21) 内務省社会局

等々を舉げることが出来る
 農産品の多くが生産者より消費者に至る間、幾多の仲間機關を経由し、その度毎に口銭手数料をとり生産者は生産物を生産費以下で賣り、消費者はまた不當の高價で買りつけられてゐることは誰しも周知のことである、販賣事業も組合員が組合を組合は地方的聯合會を、地方聯合會は全販聯を絕對利用することによつて如上の販賣組合の特長は最高限度まで發揮出来るわけである、

購買組合の仕事も亦組合法第一條第三項は「産業又は經濟に必要なる物を買ひ入れ之れに加工し若くは加工せずして又は之れを生産して組合員に賣却すること」と定められてゐる、即ち購買組合は産業上必要なものを取扱ふことが出来るから所謂原料購買組合と消費組合の仕事を一組合にて又は別々の組合にて果し得ることが出来るのである、亦購買組合は必要に應じては買入れたものに加工し更に進んでは自己生産をなして配給することが許されてゐる、

購買組合の取扱ふ品目の主要なるものは肥料、工業原料品、農具、燃料等々でなかでも肥料は壓倒的巨額を占め産業用品と經濟用品とに大別すれば、産業用品がなほ若干多いが、農村購買組合の發展と都市における消費組合の急速な膨張により、將來經濟用品

の取扱高は急激に増すであらう、販賣組合の機能が生産者として農業者にもたらす利益は購買組合の場合とはほぼ逆の過程を辿つて當はまる、

スペインG.H.N元詰
ゴルフポートワイン
 甘味葡萄酒 1・10
 御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
 (平2) 西村屋薬舗 (電3)

パラソルと日傘
 例年御定評を頂く当店特選の
 優秀な新柄を豊富に取り揃へて
ツルヤ 電話一四〇

東神火災保険株式會社
 東京動産火災保険株式會社
 統括生命保険株式會社
河田鐵工場
河田梅吉
 營業所 福島縣平町七丁目
 本支店 東京市日本橋通り三丁目
 仙臺支店 仙臺市大町三丁目

産科 婦人科 院長 **長木村寅次郎**
 外科 醫學博士 **内木宗八**
藥局 藥劑師 玄蕃彌一
 平町新川町九一
 入院隨意 **木村病院**
 病室完備
 電話一六四番

磐城名産特賣所
 御土産物には郷
石城みやげ
 七濱の生産品
 地元産の果實
平みやげ
 名菓各種
 土の名産が第一
 前驛町平

内科、小兒科
大森醫院
 醫學士 **大森勇**
 平町南町 電話二五八番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
 平代理店 關内正一
 平町二丁目 電話一六番
 事務取扱者 **阿部助次郎**

價之低
 質之高
高岡屋
 平町新川町九一

安價で効果的な
天然加里肥
 最も適應する作物！
 蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが類
 天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壤を惡變する虞は絕對にありません
一俵 參拾錢
 (大量取引は特に割引致します)
製造販賣 金成國雅
 平町鎌田 電話六八八番
 貨物自動車、の御用命に應じます

内科、小兒科
 外科、花柳病科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科
高久病院
 平町田町 電話五二三番
 院長 醫學士 **高久忠**

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一
 院長 醫學博士 **石山謙郎**
 小兒科部長 醫學士 **平賀一忠**
 産婦人科部長 醫學士 **五十嵐雄二**
 外科部長 醫學士 **坂本眞一郎**
 皮膚泌尿科部長 醫學士 **山澤正**
 器病科部長 醫學士 **山澤正**
 衛生試驗所 技術員 **石山謙郎**
 藥局 藥劑師 **高木本**
 事務局長 **鈴木木寶雄**
 (毎日午前八時より午後十時迄診察) 病室完備 入院隨意

耳鼻咽喉科専門
 醫學士 **鈴木正男**
 平町田町(電話五八番) 澤田女學校前
 入院應需 **鈴木醫院**
 淋病最新藥 **美神淋藥**
 一週分 四、五〇〇
 二週分 八、〇〇〇
 代理店 平町 **山野邊藥局**